

桜小おやじの会ニュース

VOL. 12 (2009.1.26)

発行：桜小おやじの会（会長 福田）

電話：957-5033

事務局：桜小学校 杉原教務主任

新年明けまして

おめでとうございます

平成21年は未曾有の経済危機の中、幕を明けました。

おやじの会と経済危機が直接関係するわけではありませんが、今まで以上におやじさん方の勤務状態が厳しくなり、おやじの会の活動に参加しにくい会員さんが出てくるのではないかと危惧することはあります。

しかしながら、今年もおやじの会としては、背伸びをすることなく、今年の干支である「牛」のようにゆっくりですが、一步一步確実に歩みを進めてゆこうと思っておりますので、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。

幸房小おやじの会活動への参加

幸房小おやじの会主催の「焼芋&凧作り」のイベントが1月12日（月：成人の日）に幸房小学校において開催されました。

桜小おやじの会にも声を掛けていただき、当日は、青木校長先生をはじめ5家族13人が桜小から参加しました。桜小の他にも市内の小学校からの参加もありました。

午後1時から受付、その後開会式が行われ、早速焼芋体験が行われました。焼芋は、幸房小おやじの会のメンバーが3箇所の焚き火（半切りのドラム缶を使用したもの）を管理してくださっており、参加者は濡れ新聞に包みそれをアルミ箔で巻いたサツマイモを受け取り、各自で焚き火の中に入れていました。子供達は、入っていたというより、火を怖がって投げ入れているような状況でした（笑）。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・切り取り線

焼芋が出来上がるまでの時間を利用して、凧作りが体育館で行われ、ビニールを利用した簡単な凧ではありませんでしたが、子供達は思い思いの絵を書いて親御さんと協力しながら一生懸命作っていました。

早く出来上がった子供達は体育館の中を走り回りながら揚げていましたが、全員が出来上がったところで校庭に出て凧揚げ大会となりました。しかし、残念なことに風が止んでしまい、一生懸命走っても凧は思い通りに揚がってくれないような状況でありました。

凧揚げも一段落したところで、焼芋が焼き上がったとのことで、それぞれが焼芋を受け取ってきて、「美味しい、美味しい」といいながらロ一杯にほうばっていました。焼芋の中には「紅芋」も混ざっており、それが当たった子供は「大当たりだ」と喜んでいました。

また、焼芋だけではなく、トン汁も用意されており（お父さんのエプロン姿が妙に可愛かったです）、大人も子供も何度もお代わりをしていました。たぶん、子供達は夕食が食べられなかったのではないかと心配するくらいでした。

閉会式では、幸房小おやじの会の会長さんから、「参加していただいたことへのお礼」が述べられましたが、参加者としては「逆に参加させていただいて有難い」という気持ちが強かったのか、皆大きな声でお礼を言って散会となりました。

今回のイベントに参加してみて、子供を楽しませる活動は大事だと感じましたし、子供達の楽しそうな姿を見ているだけで、なんとなく幸せな気分になってしまいました。

桜小おやじの会でも同じようなことをやろうとは言いませんが、背伸びをしないで、できる範囲のことで子供達の喜ぶような活動、イベントを今後企画しても良いのかな、と感じた一日となりました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

会員応募 ・ ご意見（どちらかに丸を付ける。ご意見は無記名でも可。切り取っておやじの会ポストへ）

児童名 _____ 第 _____ 学年 組

おやじ名 _____ 住所 _____ 電話番号 _____

ご意見 _____
